

李白と杜甫と楊貴妃の光と影



李白の出生地キルギスの碎葉城跡



杜甫の生まれた河南省の龍門石窟



楊貴妃が住んだ長安の華清池 画像提供：山田勝久さん

唐代は漢詩の黄金期で、王維、李白、杜甫、白樂天に代表されるように詩壇は豪華を極め、中でも李白と杜甫は中国の二大詩人と称されます。李白は、宮廷歌人として玄宗皇帝に仕え、楊貴妃を牡丹にたとえた「清平調詞」三首を作るなど自由闊達な詩を残しています。やがて宮廷を追われ、安史の乱で流罪になり赦免の後、余生は各地を放浪して過ごしました。一方、杜甫は科挙に失敗し浪人生活を送り 40 歳で官職を得ますが、安史の乱や大飢饉に遭い官職を捨て、流浪の旅をしながら詩を残しました。李白が宮廷を追われた頃、洛陽でたまたま杜甫と知り合います。それから二人は共に 2 年余り河南や山東を歴遊し、杜甫は李白を生涯慕いつづけたといえます。折々の思いを綴った二人の詩は、松尾芭蕉をはじめ日本文学に多大な影響を与えました。

今回、読書週間（10月27日～11月7日）の記念講演会として、山田勝久さん（大阪教育大学名誉教授・神戸常盤大学客員教授）をお招きし、「李白と杜甫と楊貴妃の光と影」と題して映像も使いながらお話していただきます。

入場
無料



講師 山田 勝久 さん

大阪教育大学名誉教授
神戸常盤大学客員教授

10月28日（日）14時より15時30分まで

定員80名（申込不要・先着順・無料・開場は13時30分より）

大阪府立中央図書館 2階多目的室

（大阪府東大阪市荒本北1-2-1）

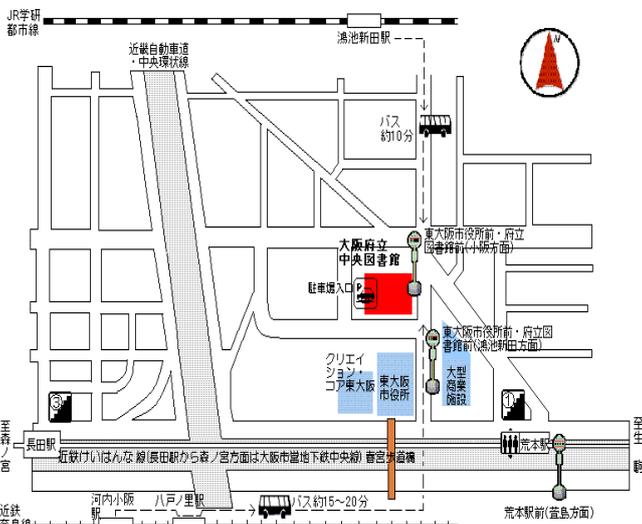
講演概要

- 李白**
- ・李白の出生地であるキルギスの碎葉（スイアブ）城の紹介。
 - ・四川省の成都（蜀）に移り住んだ理由、及び少年時代の生活。
 - ・宮廷詩人として長安で栄華を極めた生活と文学を紹介。
 - ・晩年の悲哀と孤愁が作品にどう詠まれているのかを学ぶ。
- 杜甫**
- ・杜甫の生誕地である洛陽の東方の鞏（きょう）県を紹介。
 - ・科擧をめざして苦悩する青年杜甫と、当時の唐王朝の政治状況。
 - ・安史の乱における「国破れて山河在り」（春望）の誕生にまつわるエピソード。
 - ・長江（揚子江）流域での貧しい生活と詩作品。
- 楊貴妃**
- ・少女時代を過ごした四川省成都。
 - ・玄宗皇帝の息子と結婚する。
 - ・玄宗皇帝の妃となるが、安史の乱で殺される。
 - ・日本古典文学に与えた楊貴妃の影響。

【講師紹介】

山田勝久（やまだかつひさ）：1943年生まれ、北海道教育大学教授、大阪教育大学教授・学長補佐、大阪教育大学附属池田中学校長、私立大学副学長・理事を歴任。現在は大阪教育大学名誉教授、神戸常盤大学客員教授。日本人として初めて楼蘭王国の陵墓の壁画を、三次にわたって調査した。その他、パルミラやサマルカンドなどの古代遺跡を調査。著書に『唐代散文選』、『唐代文学の研究』、『唐詩の光彩』（笠間書院）、『パルミラの光彩』（雄山閣）など多数。

※講演会の参加に際して、障がい等の状況により、配慮が必要な方は事前にお知らせください。



【アクセス】

- 近鉄けいはんな線（地下鉄中央線乗り入れ）荒本駅下車（1番出口）北西へ約400M
- 長田駅下車（3番出口）北東へ約1000M
- 東大阪市役所北側

問い合わせ先

大阪府立中央図書館

生涯学習事業担当

〒577-0011

東大阪市荒本北1-2-1

TEL 06(6745)0170 FAX 06(6745)0262

【駐車場】

- 有料地下駐車場：120台/入庫後15分間は無料（平日は100円/60分、最大料金500円、土日祝祭日は150円/60分、最大料金600円）
- 詳しくは、次のホームページをご覧ください。

<https://www.library.pref.osaka.jp/site/central/>